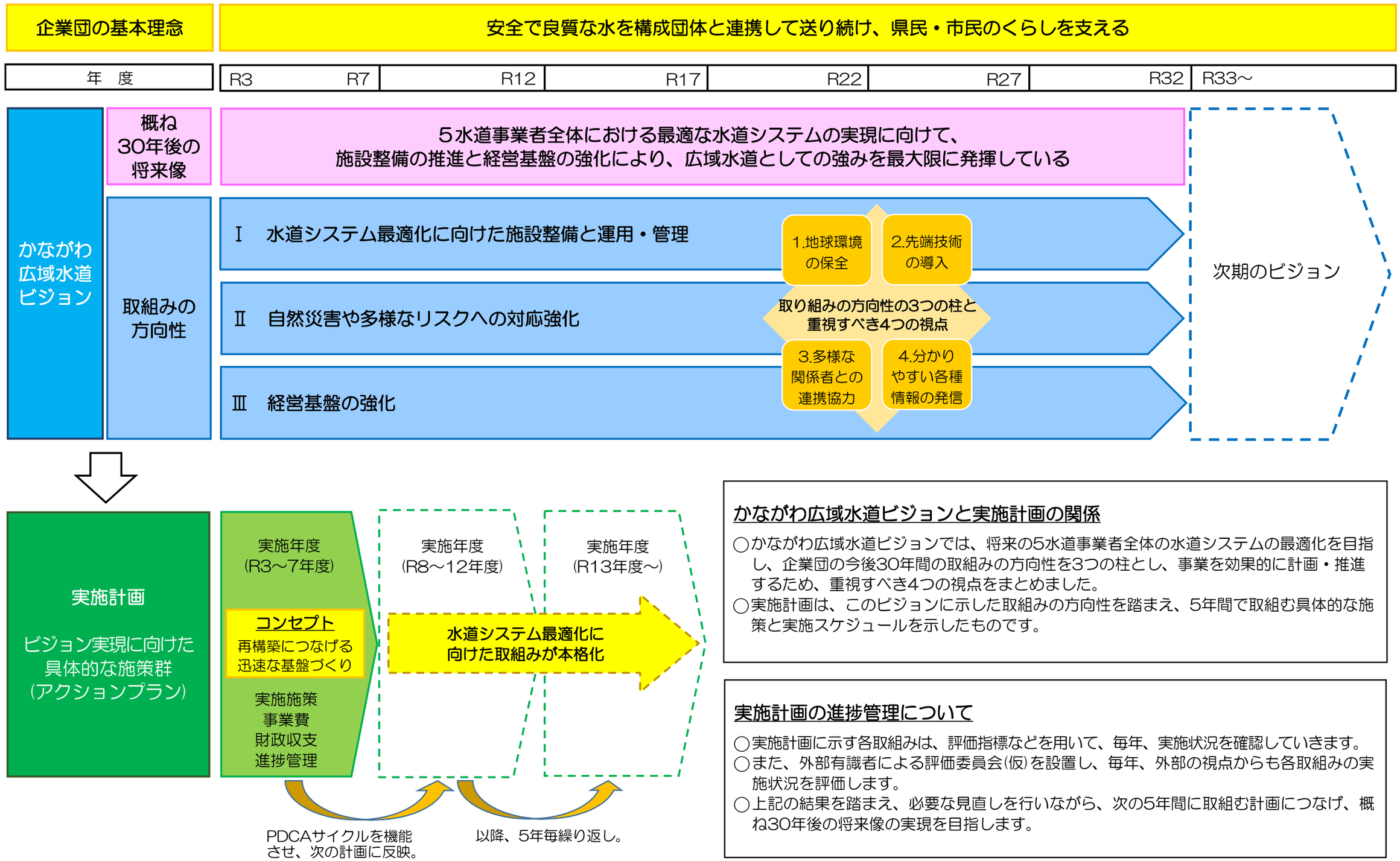
新ビジョンと実施計画の関係



かながわ広域水道ビジョンと実施計画の関係

○かながわ広域水道ビジョンでは、将来の5水道事業者全体の水道システムの最適化を目指し、企業団の今後30年間の取組みの方向性を3つの柱とし、事業を効果的に計画・推進するため、重視すべき4つの視点をまとめました。
○実施計画は、このビジョンに示した取組みの方向性を踏まえ、5年間で取組む具体的な施策と実施スケジュールを示したものです。

実施計画の進捗管理について

○実施計画に示す各取組みは、評価指標などを用いて、毎年、実施状況を確認していきます。
○また、外部有識者による評価委員会(仮)を設置し、毎年、外部の視点からも各取組みの実施状況を評価します。
○上記の結果を踏まえ、必要な見直しを行いながら、次の5年間に取組む計画につなげ、概ね30年後の将来像の実現を目指します。